



あおそ

大江町立
本郷東小学校
学校だより
No. 11
令和7年2月25日

本郷東小の共生“郷”育について

雪の少ない冬に慣れていたせいか、今年の降雪により生活しづらさを感じていらっしゃる方も多いのではと推察しております。除雪や排雪の作業、本当におつかれさまです。

さて、大江町教育委員会は、このたび「大江町の小中学校のあり方基本方針（案）」を打ち出し、現在、説明会やパブリックコメント等を介して、広く町民の方々の声を募っているところです。この基本方針（案）には、3つの方針が示されていますが、その一番目には、地域の方々が集い子どもたちとふれあうこと、世代を超えた人間関係づくりを大切にし、ふるさと（故郷）への愛着を育む「共生“郷”育」を行い、「地域と共に歩む学校」にしていくという方針が掲げられています。

このことを本校の教育活動に照らして考えてみますと、「青芋」「月布川」「林業」「灌漑」「りんご」「米」「生き物」「キラリの会」等々、数々の感動に出会い、そこにはその感動に導いてくださる地域の方々の情熱があります。地域の本物に触れることが子どもたちの知的好奇心をさらに揺さぶり、地域への愛着につながっているものと信じています。

先日、6年生は「青芋づくりに学ぶ」のまとめの学習とも言える「コサージュづくり」に取り組みました。夏に青芋の色素をつかって絹製の布片を染め上げていましたが、今回はそれを加工して、バラをかたどったものにするという少々難しそうな活動です。この日、青芋復活夢見隊のみなさんと山形大学農学部笹沼先生と研究室の学生さんが活動の支援に駆けつけてくださいました。



そこには、確かに製作に必要な技術的な支援が見られますが、何と言ってもこれらの活動には、支えてくださる夢見隊の方々や学生さんたちの温かなまなざし、声掛け、身振り手振りなど、人と人をつなぐ営みが様々繰り出され、精神的な面でも子どもたちが自然に近づいていくこと、心が通い合うことに価値があると思うのです。

今回、小中学校のあり方基本方針（案）が示されましたが、本校での教育活動に磨きをかけ、さらにいいものにしていこうという気概を大切にして進めていきたいと改めて感じたところです。

日頃から地域の皆様や保護者の皆様に温かく見守っていただいていることに感謝申し上げます。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

【校長 矢作 誠】



学校生活の様子



楽しく滑ったスキー教室！

2月6日（木）に3～6年生のスキー教室が朝日自然観スノーパークで行われました。今年は寒波による荒天が心配される中での実施となりましたが、当日は時折晴れ間も顔を覗かせ、スキー教室を楽しみにしていた子ども達はみんな元気に滑ることができました。インストラクターの適切な指導により子ども達のスキー技術がめきめき上達し、初めて参加した3年生も全員がリフトに乗って滑ることができました。



2月10日（月）、ムーミンママクラブの方々が2年生にブックトークをしてくださいました。大きな絵巻物を使った読み聞かせや「スーホの白い馬」に関するブックトーク、モンゴルのゲル（移動式の家）や衣装、馬頭琴等の紹介に子ども達は興味津々で、日本との違いに驚きながら夢中になって聞き入っていました。

楽しく学んだブックトーク



交通指導員さんに感謝する会！

子ども達の交通安全を毎日見守り、ご指導くださっている交通指導員の菊地久美子さんと佐竹千賀子さんに感謝する会が2月19日（水）に行われました。子ども達が生きた手紙と花の鉢植えを贈り、感謝の気持ちを伝えました。菊地さんのお話をお聞きし、子ども達は改めて交通安全に気をつけようという意識を高めることができました。

3月の予定

3日（月）安全点検 通学班長会
4日（火）キラリの方へ感謝する会
10日（月）あいさつの日（PTA 母親委員）
後期縦割り班振り返り
17日（月）修了式 通知表配付

18日（火）卒業証書授与式
19日（水）学年末休業
26日（水）PTA 監査
28日（金）離任式

